

第7期福生市地域福祉計画策定に向けた 基礎調査報告書【概要版】

- ・アンケートの全容は「第7期福生市地域福祉計画策定に向けた基礎調査報告書」に掲載しています。
- ・概要版では、調査・回答項目のうち、主要な内容を掲載しています。

アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、第7期福生市地域福祉計画の策定にあたり、市民や地域の実態を把握し、施策や計画の評価指標を検討する基礎資料となることを目的として、実施しました。

(2) 調査概要

調査種	調査方法	実施期間
市民調査 (18歳以上の 市民3,000人)	・郵送配布 ・郵送又はWEB調査での回答を自由選択 ・やさしい日本語版の回答フォームの作成	令和6年11月7日～11月25日 ※12月9日受付分までを反映
地域福祉関連 団体調査 (123団体)	・郵送配布・回収	令和6年10月10日～10月27日 ※11月12日受付分までを反映

(3) 回収結果

■市民調査

調査票	配付数	回答方法		回収数計	回収率
		紙	web		
一般	3,000	737	218	955	
やさしい日本語版			12	12	
合計	3,000	737	230	967	32.2%

■地域福祉関連団体調査 123件配付、回収数82件、回収率66.7%

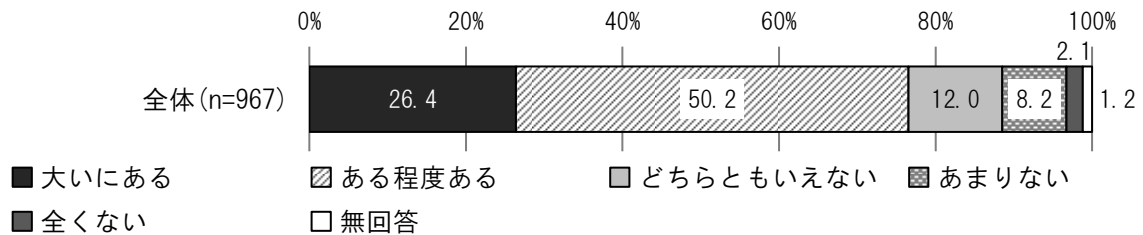
2 市民調査結果

(1) 地域での活動について

問 あなたは、福生市に愛着がありますか。

(単数回答)

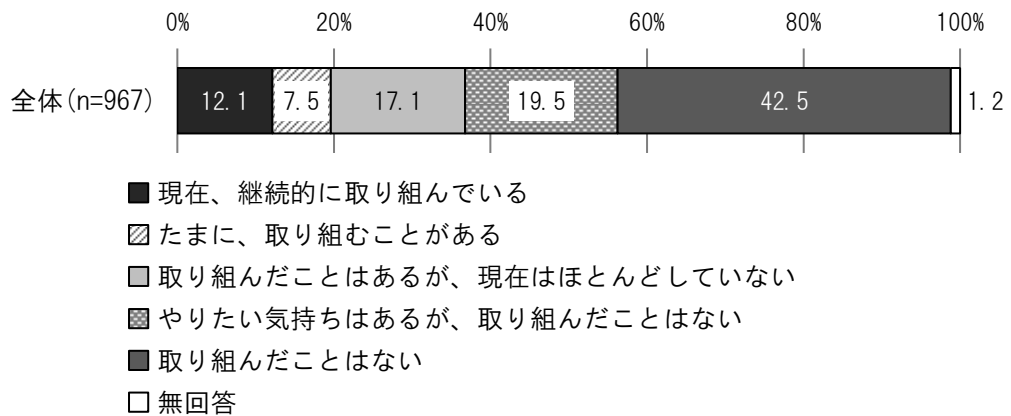
「ある程度ある」が50.2%と最も多く、次いで「大いにある」が26.4%、「どちらともいえない」が12.0%となっています。



問 あなたは、地域活動やボランティア活動に取り組んでいますか。

(単数回答)

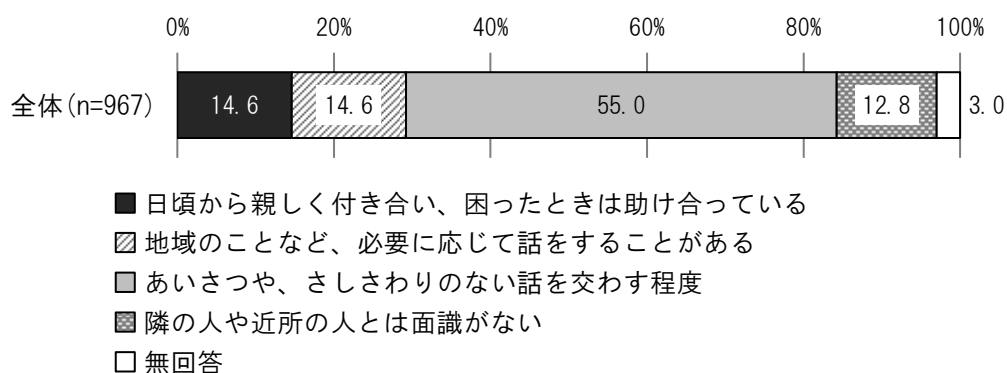
「取り組んだことはない」が42.5%と最も多く、次いで「やりたい気持ちはあるが、取り組んだことはない」が19.5%、「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が17.1%となっています。



(2) 地域とのつながりについて

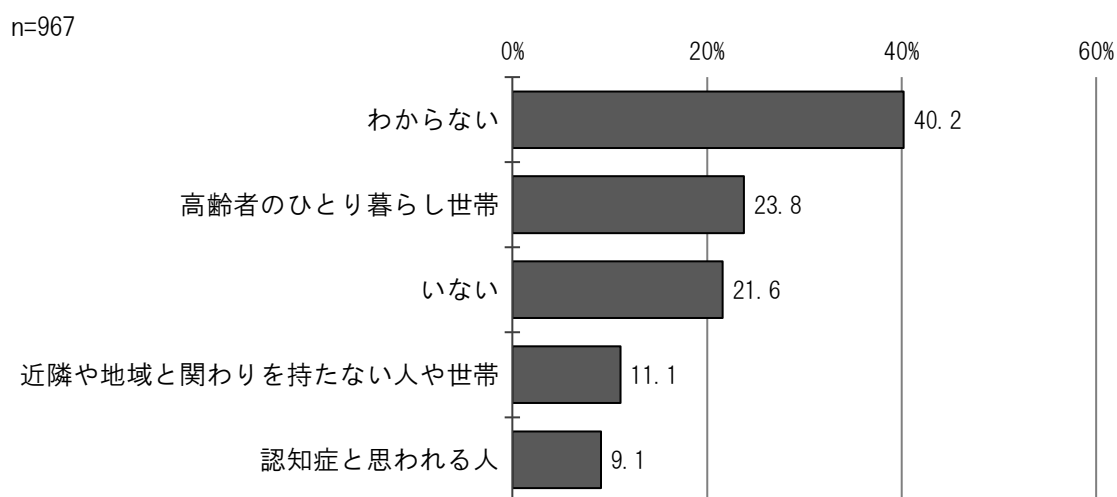
問 現在、どのような近所（徒歩5分程度の範囲）での付き合いをしていますか。（単数回答）

「あいさつや、さしさわりのない話を交わす程度」が55.0%と最も多く、次いで「日頃から親しく付き合い、困ったときは助け合っている」「地域のことなど、必要に応じて話をすることがある」が14.6%となっています。



問 ご自宅や近所に、次のような見守りなどの支援が必要な人や世帯、何らかの深刻な問題を抱えていると思われる人や世帯はありますか。（複数回答・上位5項目）

「わからない」が40.2%と最も多く、次いで「高齢者のひとり暮らし世帯」が23.8%、「いない」が21.6%となっています。

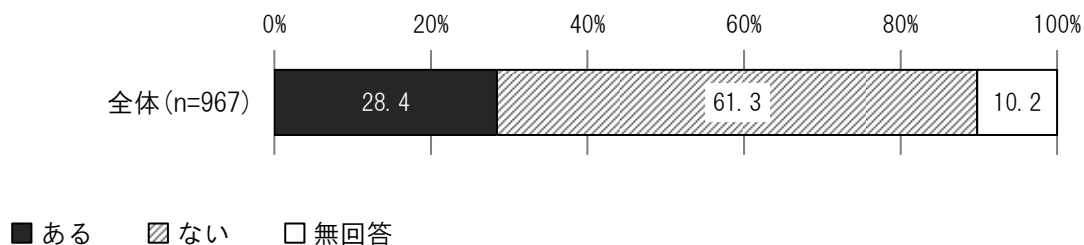


(3) 暮らしの困りごとについて

問 あなたは今の生活において困っていることはありますか。

(単数回答)

「ない」が61.3%、「ある」が28.4%となっています。

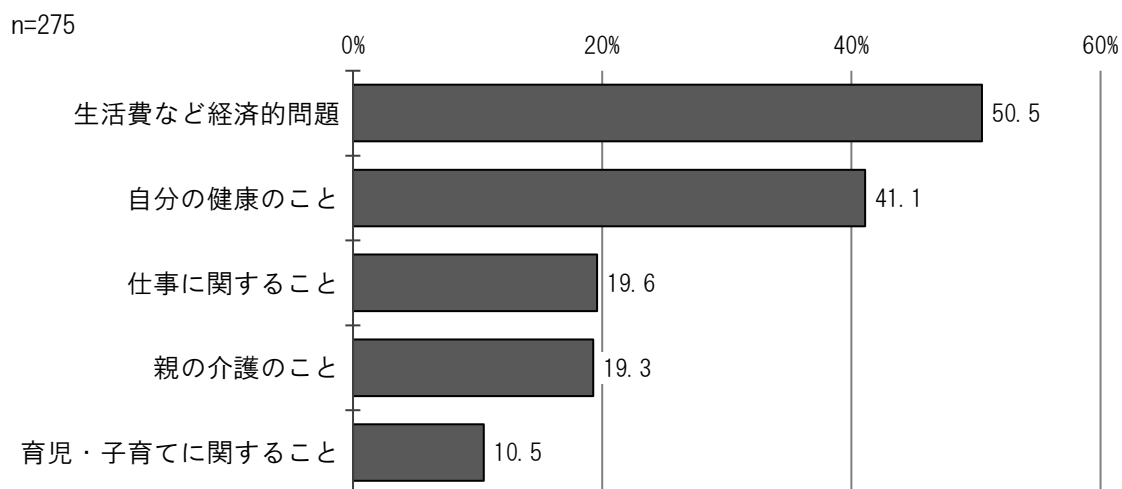


問 「ある」を選んだ方

どんなことに困っていますか。

(複数回答・上位5項目)

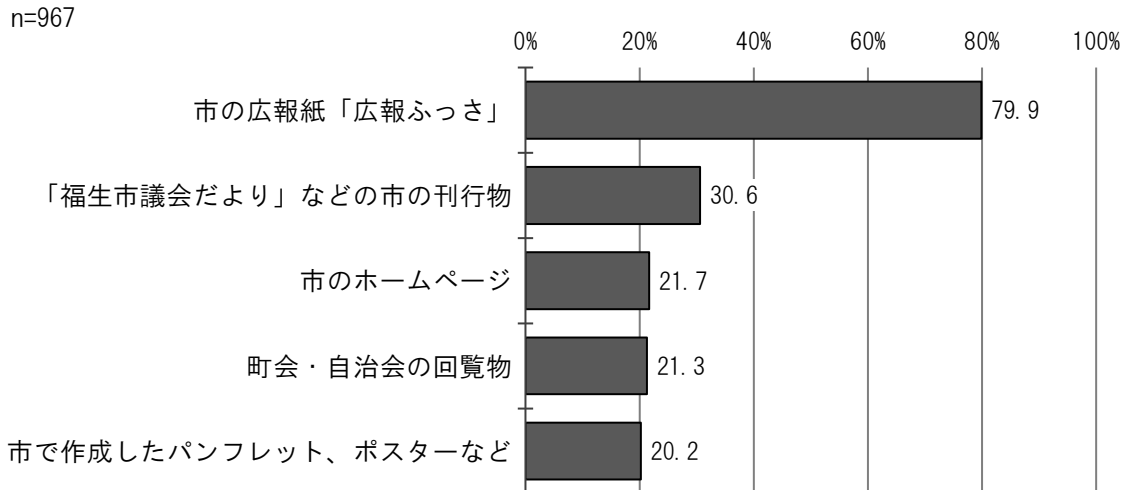
「生活費など経済的問題」が50.5%と最も多く、次いで「自分の健康のこと」が41.1%、「仕事に関すること」が19.6%となっています。



（４）福祉情報について

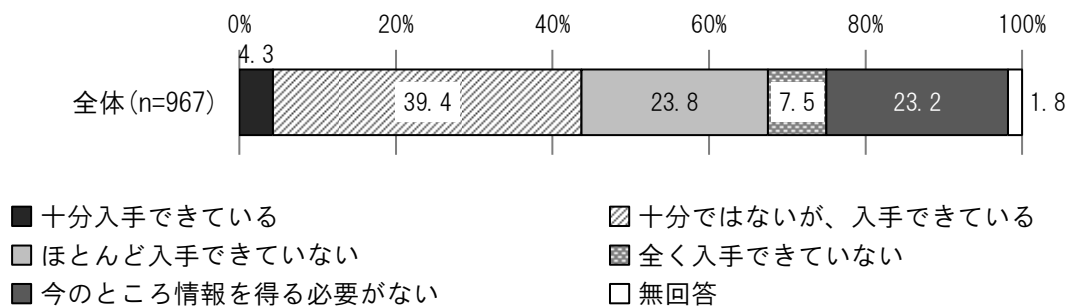
問 福祉に関する情報はどこから得ていますか（得ようと思いますか）。
（複数回答・上位５項目）

「市の広報紙「広報ふっさ」」が79.9%と最も多く、次いで「福生市議会だより」などの市の刊行物が30.6%、「市のホームページ」が21.7%となっています。



問 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると思いますか。（単数回答）

「十分ではないが、入手できている」が39.4%と最も多く、次いで「ほとんど入手できていない」が23.8%、「今のところ情報を得る必要がない」が23.2%となっています。

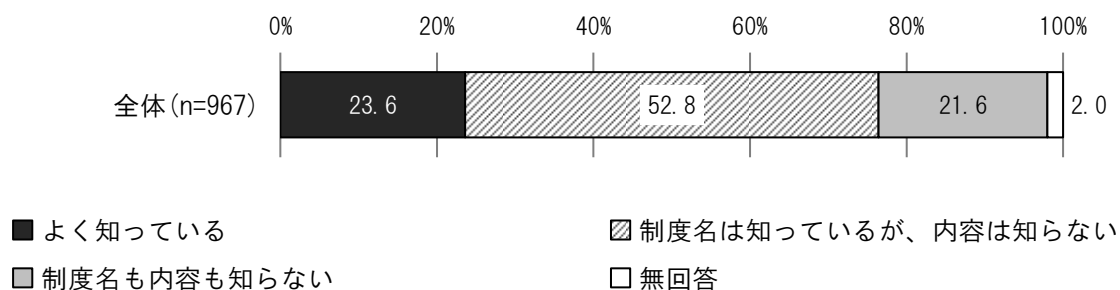


（５）権利擁護について

問 あなたは、成年後見制度について知っていますか。

（単数回答）

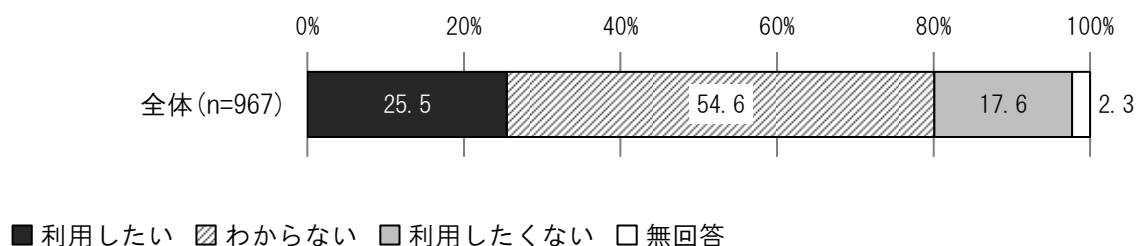
「制度名は知っているが、内容は知らない」が52.8%と最も多く、次いで「よく知っている」が23.6%、「制度名も内容も知らない」が21.6%となっています。



問 将来的にあなた自身の判断能力が不十分になった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

（単数回答）

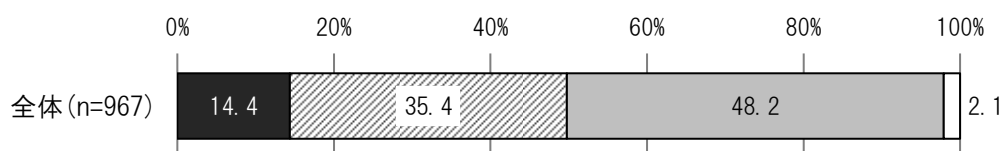
「わからない」が54.6%と最も多く、次いで「利用したい」が25.5%、「利用したくない」が17.6%となっています。



（６）再犯防止について

問 約 20 年の間、全国の犯罪の件数（刑法犯検挙者数）は減少している一方で、検挙者に占める再犯者（再び検挙された人）の割合が 50%弱で高いまま推移しています。あなたは、このことを知っていましたか。（単数回答）

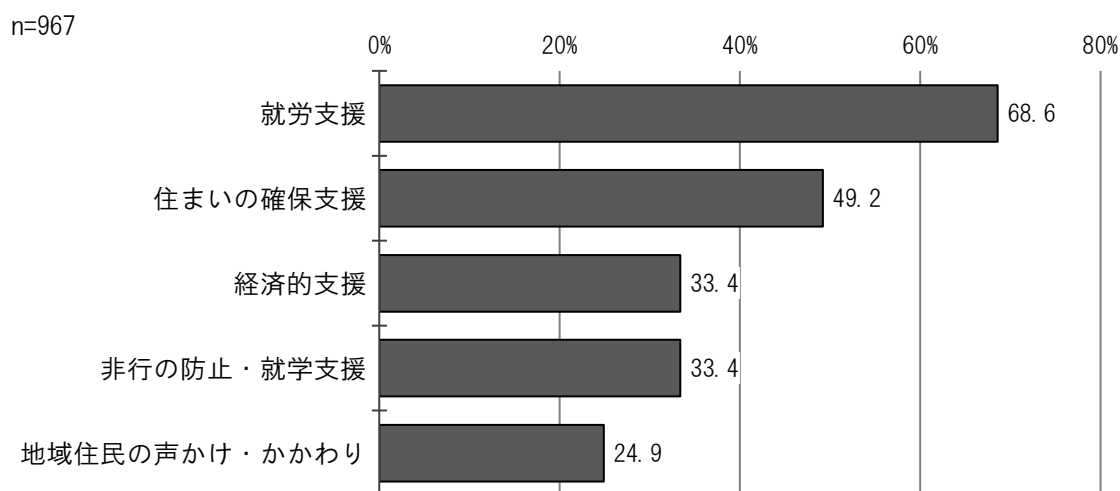
「知らない」が 48.2%と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が 35.4%、「知っている」が 14.4%となっています。



■ 知っている ▨ なんとなく知っている ■ 知らない □ 無回答

問 あなたは、罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思えますか。（複数回答・上位5項目）

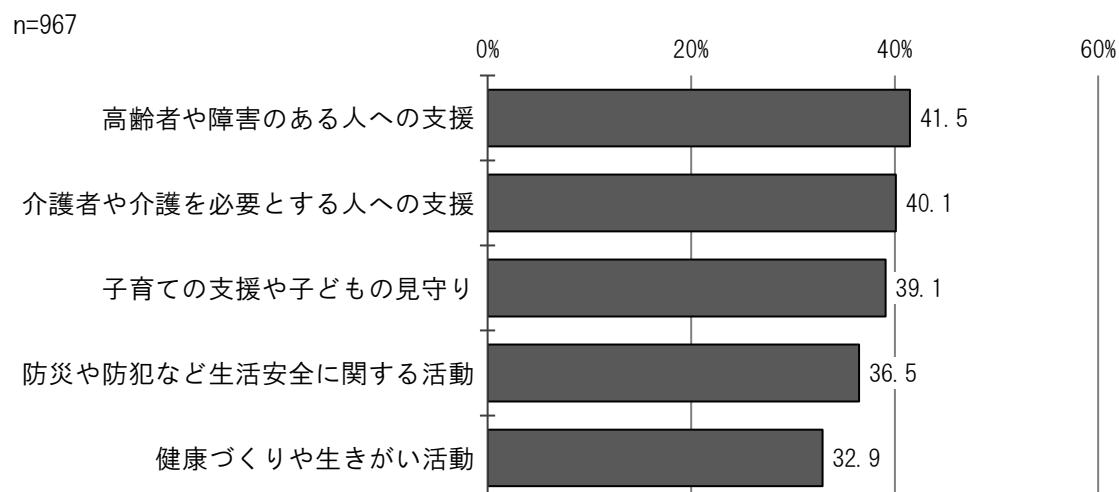
「就労支援」が 68.6%と最も多く、次いで「住まいの確保支援」が 49.2%、「経済的支援」「非行の防止・就学支援」が 33.4%となっています。



(7) これからの地域福祉について

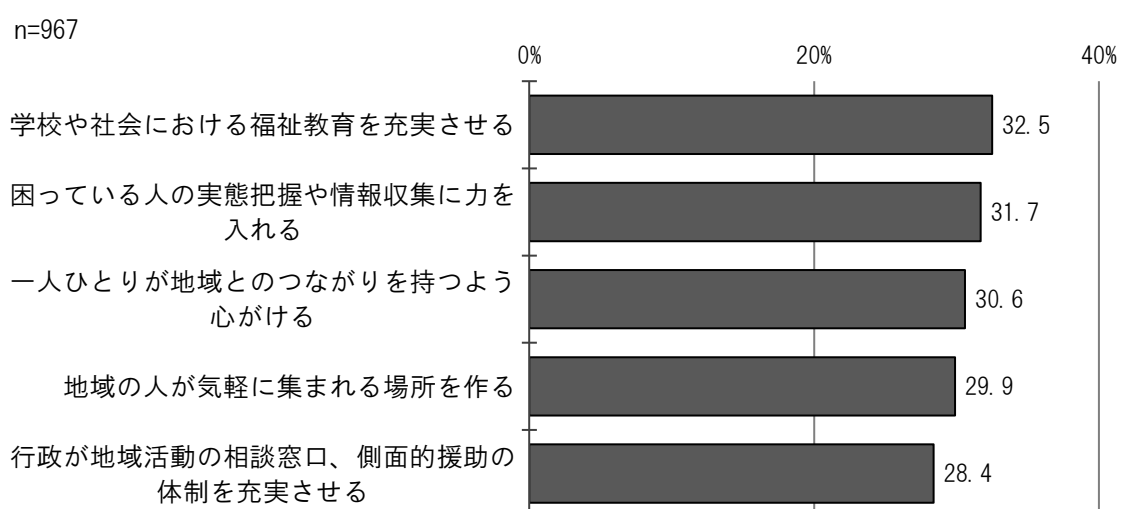
問 今後、住みよいまちづくりを進めるうえで、地域住民としてどのようなことに取り組んでいきたいとお考えですか。
(複数回答・上位5項目)

「高齢者や障害のある人への支援」が41.5%と最も多く、次いで「介護者や介護を必要とする人への支援」が40.1%、「子育ての支援や子どもの見守り」が39.1%となっています。



問 誰もが地域の中に居場所があり、権利と尊厳が守られ、孤立することなく、自分らしく安心して暮らすことができる「地域共生社会」を実現するためには、これからどのような取組が必要だと考えますか。
(複数回答・上位5項目)

「学校や社会における福祉教育を充実させる」が32.5%と最も多く、次いで「困っている人の実態把握や情報収集に力を入れる」が31.7%、「一人ひとりが地域とのつながりを持つよう心がける」が30.6%となっています。



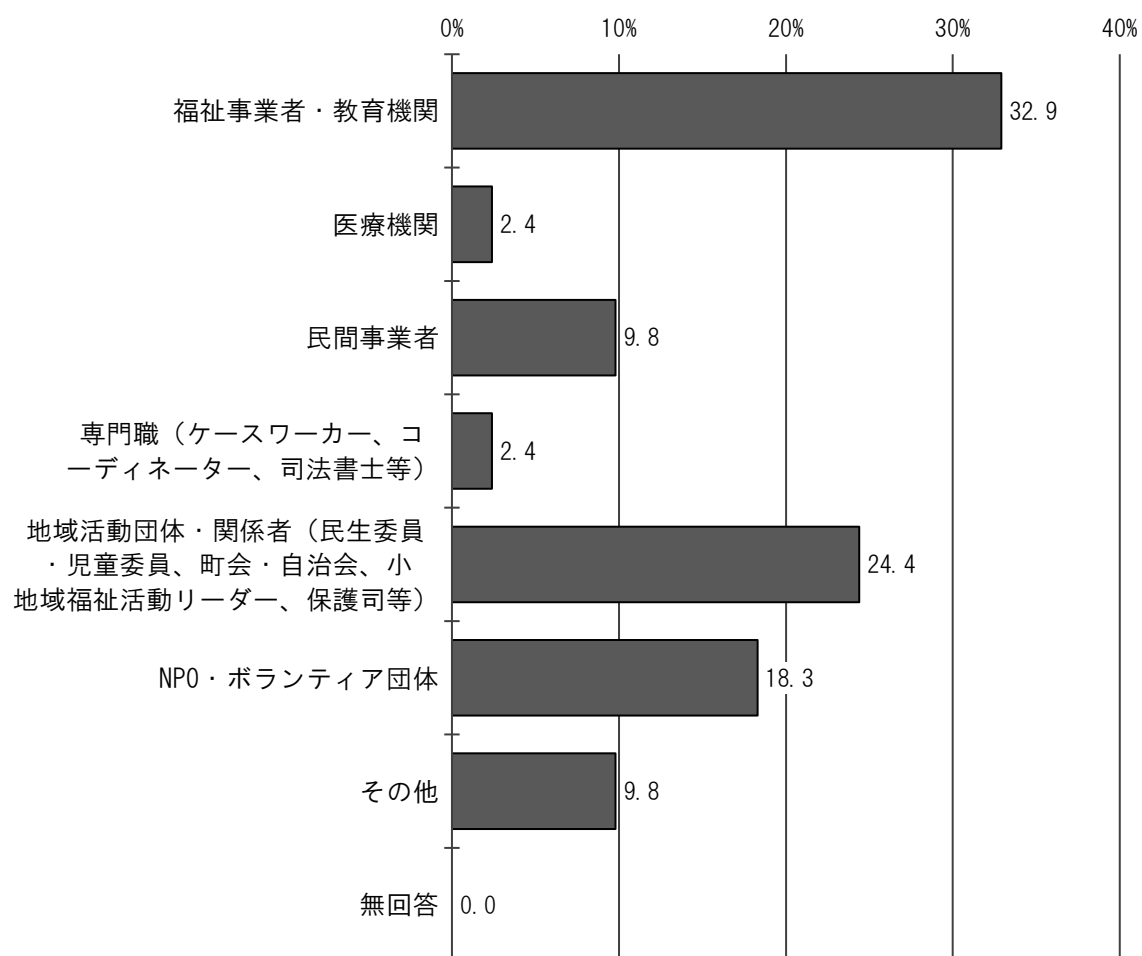
3 地域福祉関連団体調査結果

(1) 貴団体・事業者のことにについて

問 団体区分 (単数回答)

「福祉事業者・教育機関」が32.9%と最も多く、次いで「地域活動団体・関係者（民生委員・児童委員、町会・自治会、小地域福祉活動リーダー、保護司等）」が24.4%、「NPO・ボランティア団体」が18.3%となっています。

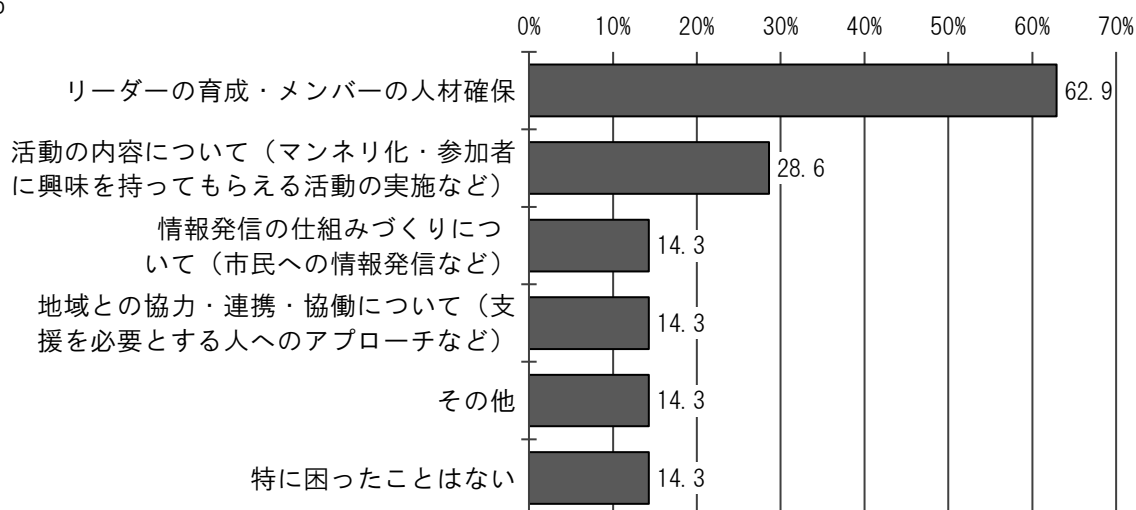
n=82



問 団体区分が「地域活動団体・関係者」「NP0・ボランティア団体」の方
貴団体が活動を行ううえで困っていることはどのようなことですか。（複数回答・上位
5項目）

「リーダーの育成・メンバーの人材確保」が62.9%と最も多く、次いで「活動の内容について（マンネリ化・参加者に興味を持ってもらえる活動の実施など）」が28.6%、「情報発信の仕組みづくりについて（市民への情報発信など）」「地域との協力・連携・協働について（支援を必要とする人へのアプローチなど）」「その他」「特に困ったことはない」が14.3%となっています。

n=35

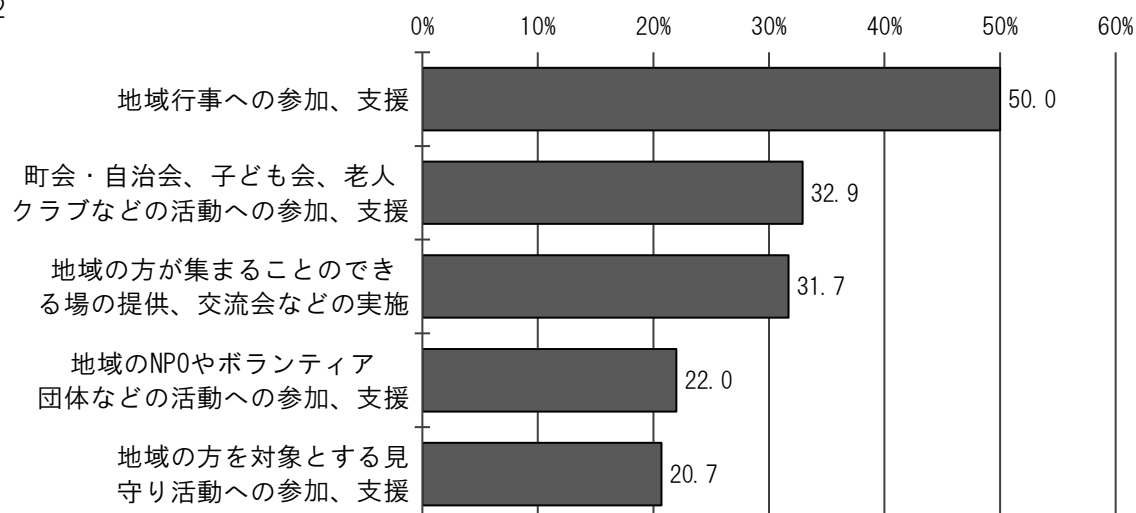


（２）地域での取組について

問 貴団体・事業者の活動の中で、地域と一緒にやっていることや、地域に向けて行っていることはありますか。（複数回答・上位5項目）

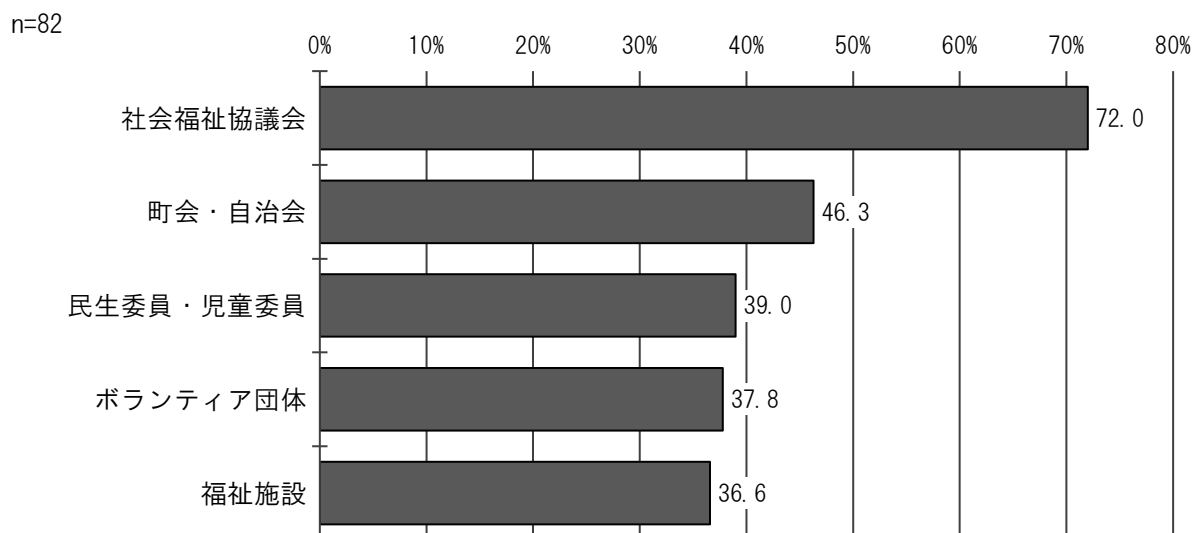
「地域行事への参加、支援」が50.0%と最も多く、次いで「町会・自治会、子ども会、老人クラブなどの活動への参加、支援」が32.9%、「地域の方が集まることのできる場の提供、交流会などの実施」が31.7%となっています。

n=82



問 貴団体・事業者では、地域活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。
(複数回答・上位5項目)

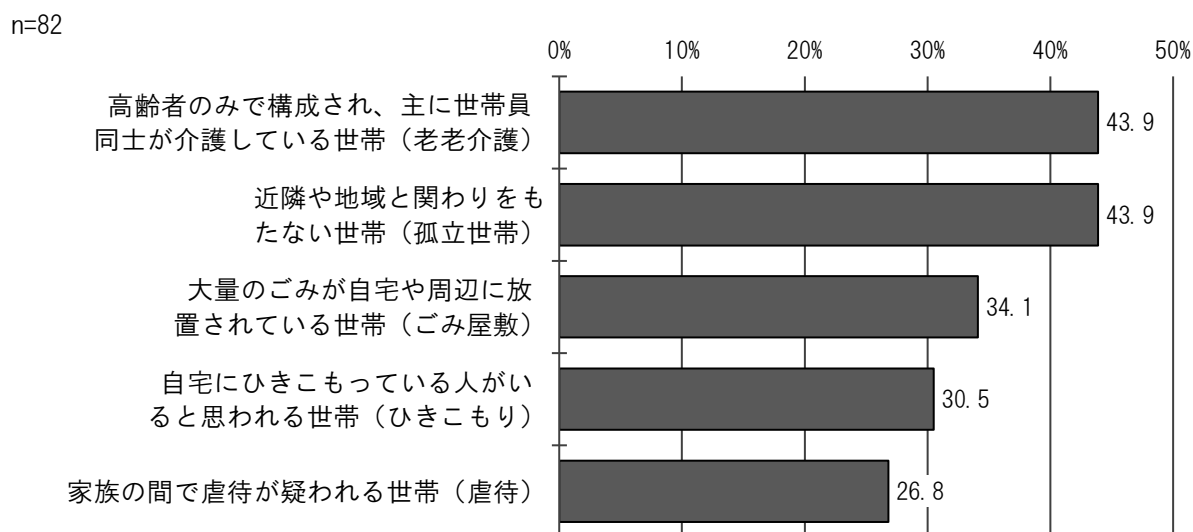
「社会福祉協議会」が72.0%と最も多く、次いで「町会・自治会」が46.3%、「民生委員・児童委員」が39.0%となっています。



(3) 活動(事業)を通して見える地域の状況について

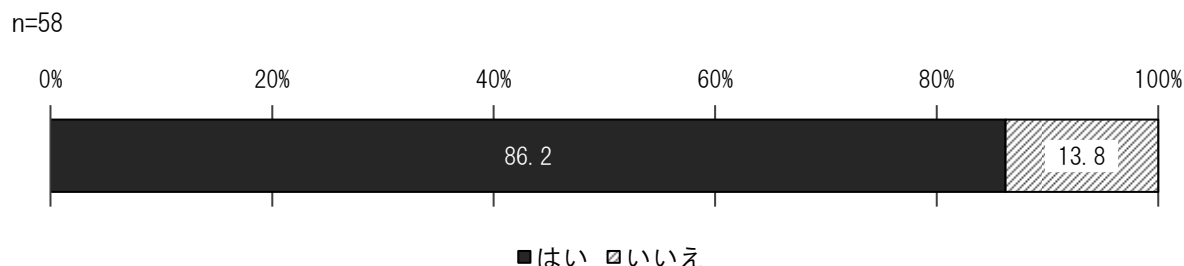
問 活動(事業)を通して、次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。
(複数回答・上位5項目)

「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)」 「近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)」が43.9%と最も多く、次いで「大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)」が34.1%、「自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり)」が30.5%となっています。



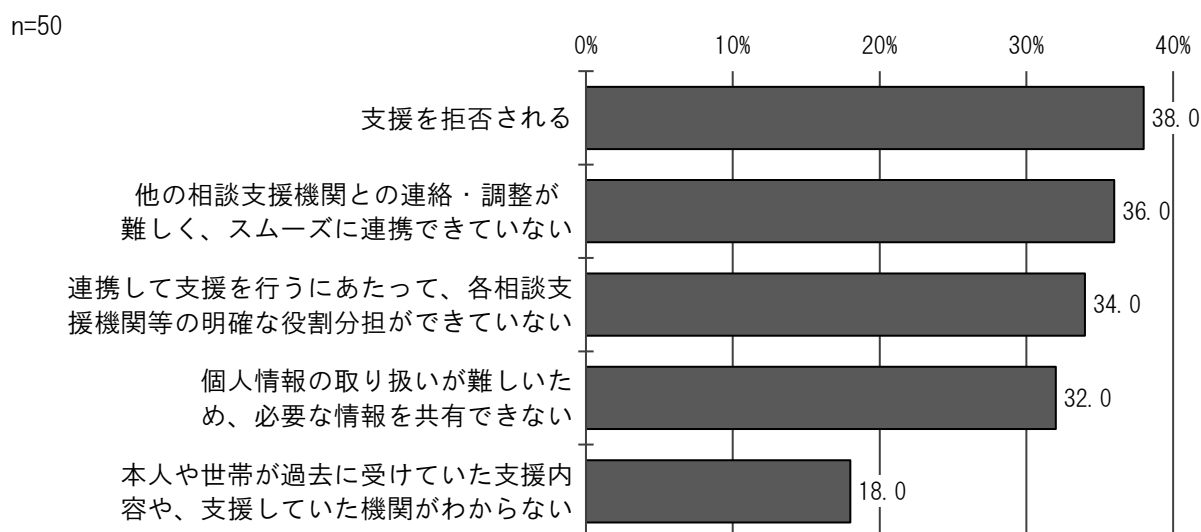
問 活動（事業）を通して、見守りや支援が必要な世帯を見たり聞いたりしたことがあると
 答えた方
 そのような世帯を支援したことがありますか。 (単数回答)

「はい」が86.2%と、「いいえ」の13.8%を上回っています。



問 「はい（支援したことがある）」と答えた方
 支援している中でどのような困りごとがありましたか。 (複数回答・上位5項目)

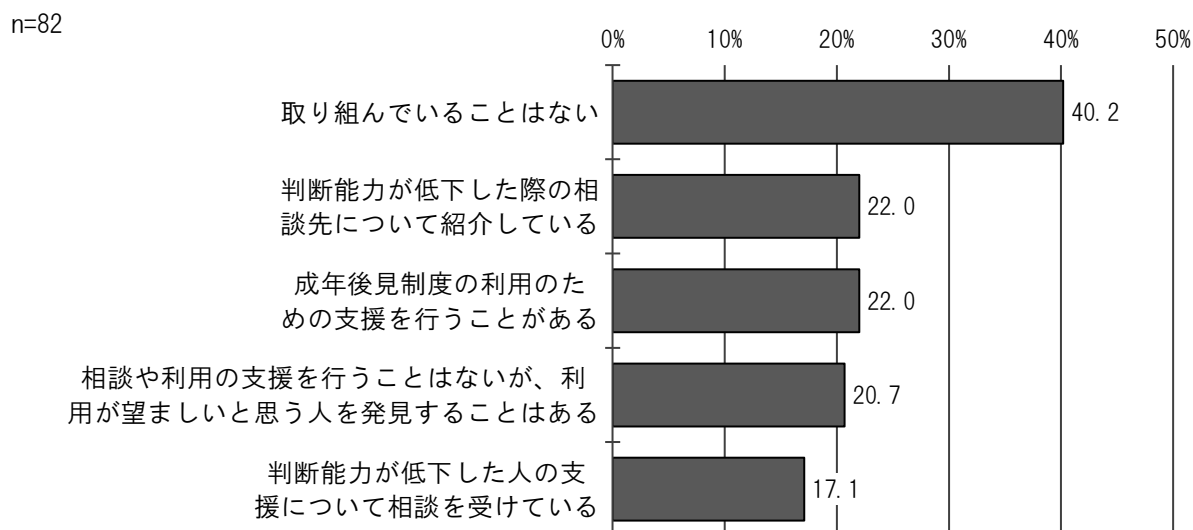
「支援を拒否される」が38.0%と最も多く、次いで「他の相談支援機関との連絡・調整が難しく、スムーズに連携できていない」が36.0%、「連携して支援を行うにあたって、各相談支援機関等の明確な役割分担ができていない」が34.0%となっています。



（４）権利擁護支援について

問 活動（事業）の中で、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行うことがありますか。
（複数回答・上位５項目）

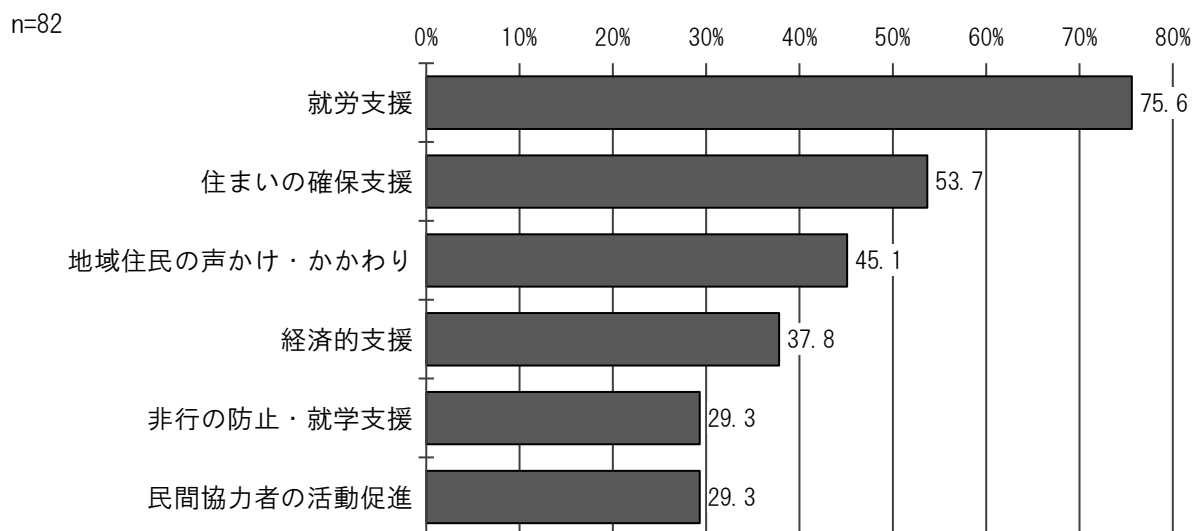
「取り組んでいることはない」が40.2%と最も多く、次いで「成年後見制度の利用のための支援を行うことがある」「判断能力が低下した際の相談先について紹介している」が22.0%、「相談や利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が20.7%となっています。



（５）再犯防止について

問 犯罪をした人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思いませんか。
（複数回答・上位５項目）

「就労支援」が75.6%と最も多く、次いで「住まいの確保支援」が53.7%、「地域住民の声かけ・かかわり」が45.1%となっています。



ヒアリング調査

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、市内で活動する福祉関係団体・事業者に対し、活動上の課題や地域の現状を把握し、市の施策の検討材料とするとともに、関係団体・機関が相互に連携しながら地域福祉の推進に取り組むことができるよう、団体間の情報共有や、横のつながりのきっかけとすることを目的として実施しました。

(2) 調査概要

地域福祉関連団体アンケート調査に回答のあった団体のうち 11 団体へ調査を実施しました。

■参加団体内訳：NP0・ボランティア団体 5 団体、地域活動団体 1 団体、福祉事業者 4 団体、障害者団体 1 団体

(3) 調査内容

各団体に対し、「連携して取り組んでいること・取り組みたいこと」、「連携・協力関係を生むために重要だと思うこと」、「活動を通じて感じる地域の活動」、「支援が必要な人に対し、団体・事業者としてできること・うまくいっていないこと」について聞き取りや情報交換等を行いました。

第 7 期福生市地域福祉計画策定に向けた 基礎調査報告書【概要版】

令和 7 年 3 月 福生市

発行：福生市役所 福祉保健部 社会福祉課
〒197-8501 東京都福生市本町 5 番地
代表電話：042-551-1511